

令和4年 第17回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年9月13日（火）午後1時30分

場 所：教育委員会室

教育長	蓮 沼 千 秋
教育長職務代理者	井 戸 道 代
委員	平 井 俊 一
委員	天 野 安喜子
委員	庭 野 正 和

事務局	教育推進課長	飯 田 常 雄
	学務課長	大 關 一 彦
	教育指導課長兼教育研究所長	
		佐 藤 嘉 弘
	学校施設課長	八 木 邦 夫
	統括指導主事	百 々 和 世
	統括指導主事	千 葉 一 知

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	杉 浦 佳 之

蓮沼教育長	<p>開会時刻 午後1時30分</p> <p>ただいまから、令和4年第17回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>日程第1、署名委員を決定します。平井委員と庭野委員にお願いします。</p> <p>続いて、日程第2、議案の審議にまいります。</p> <p>初めに、第30号議案、「はたらくってなーに？おみせやさんごっこ開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
飯田教育推進課長	<p>初めての後援名義申請になりますので、資料一式をつけさせていただいております。申請書からご説明をさせていただきます。</p> <p>申請者は東京キッズマネースクール親子スマイル校代表者でございます。</p> <p>ちなみに、この担当としてお名前が載っております根本さんは、小岩第五中学校のPTA会長さんとお伺いしております。</p> <p>行事名は、はたらくってなーに？おみせやさんごっこです。</p> <p>事業目的でございますように、地域の応援企画、また、非営利目的として、子どもたちにお金に興味を持ってもらい、金融教育のお手伝いをする。また、お店屋さんごっこの中で、お金の大切さや親への感謝を伝える体験をする勉強会ということで開催するものでございます。</p> <p>実施日時及び会場でございますが、令和4年10月29日(土)を小岩地区小岩図書館で開催する予定です。11月26日(土)につきましては、東部・鹿骨地区ということで、鹿骨区民館で開催する予定となっております。</p> <p>事業規模でございますが、対象としては4歳から10歳の子どもと、その保護者を対象と考えていらっしゃるそうです。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>企画書となっておりますので、事業の目的につきましては、先ほどのご説明したことと同じようなこととさせていただきますので、割愛させていただきます。</p> <p>事業計画、内容等でございますが、対象4歳から10歳、定員は各回で10組、時間は2時間無料ということでございます。</p> <p>企画の趣旨、プログラムをご覧くださいますと、この2時間のプログラムといたしましては、座学としてお金の話をして、寸劇ということで、お金をもらう、また働くことについての線引き、ワークということでお店づくり、塗り絵や切り抜きにて作業して、お店の準備をする。疑似体験としてお店屋さんごっこをして、接客や声かけ、販売、支払い等の体験を行い、最後に発表・まとめということで、売上計算や感想を言うということでございます。</p>

講師につきましては、キッズマネースクール認定講師ということで、ファイナンシャルプランナー有資格者が講師となる予定でございます。

一番下でございますように、今回の申請は小岩地区並びに東部・鹿骨地区でございますが、今後エリアを区域全体に広げて、順番に実施していくようなこととお伺いしております。

次のページが予算書、その次のページに今後の開催予定を現時点での予定でございますが、記載していただきました。

その次のページが役員名簿となっております、資料の一番後ろ側に、この組織の規約がございます。その規約17条以降をこちらに記載させていただきます。

規約の次のページをご覧くださいますと、こちらがこのキッズマネースクールの過去に実施したチラシです。左上に記載がございますように、西東京市の教育委員会の後援名義を得て、西東京市で実施した際のチラシです。事業の内容は、今回実施するものと同等でございますので、参考につけさせていただきました。

また、西東京市で実施した際の活動風景を、その次のページ以降に記載をさせていただいてございまして、何枚かおめくりいただきますと、事業計画というところの記載がございます。

事業計画書(1)のところの企画書は、先ほどご説明したのと同様です。

次のページの事業計画書(2)地域活性化に向けてというところにつきましては、これまでの実施状況、直近では東京の府中市、調布市、西東京市など、また、活動実績といたしましては下記にございますように、それぞれの地域の中でかなり多くの回数の実績があるというところがございます。

その後ろにつきましては、各メディアにおきまして、この取組が紹介されたということの記事を参考につけていただいているものであります。

事業計画書(5)というところでは、コロナ対策を行った上で実施する旨を記載していただきました。

最後に、規約が添付されてございます。資料の説明につきましては以上です。

教 育 長

この件に関しまして、何か質問、ご意見がございますか。

天 野 委 員

確認させてください。この代表の方はこういったご職業の方でしょうか。ご担当の方は、江戸川区の中学校のPTA会長さんということは分かりましたが、全国的に展開するというのは、企業の方なのかなと気になったもので

	<p>すから、教えてください。</p>
教育推進課長	<p>会の規約では、第4条に正会員というところがございます。今回の目的に賛同かつ最低限の金融知識を有し、積極的に運営に参画する個人及び団体ということで記載がございますが、実際のところを担当者の方にお伺いしたところ、こちらの団体で講師をされるようなファイナンシャルプランナーの方が行っている活動団体と伺っております。</p>
天野委員	<p>ありがとうございます。</p>
教育長	<p>よろしいですか。あとはいかがでしょうか。</p>
庭野委員	<p>10歳までの子ども対象の消費者教育、金銭教育に関わる活動だと思えますけれども、ファイナンシャルプランナーとおっしゃっていましたが、どこかの金融機関とかと関連していて、終わってから勧誘とかがあるのか、ないのかというのが、ちょっと心配です。事業自体の中身は素晴らしいものではないかなと思います。</p> <p>昨今、お金を出して、こういったいろいろな体験をするところというのが、たくさんできておりますけれども、こういったことを江戸川区内のいろいろなところでやっていただけるということは、これから賢い消費者にしっかりなろうというところですので、家庭科とか社会科とか、そういった教科にもしっかりと結びつけてできるところではないかなというふうに思います。</p>
教育推進課長	<p>今回担当されていらっしゃる方からお伺いしたところによりますと、ファイナンシャルプランナーということですので、それぞれメンバーの方は、例えば金融機関だったりとか、保険の代理店だったりとか、様々な職業の中で活動されていらっしゃるようですが、この取組はあくまでもボランティア活動として取り組んでいるということで、営業につながるような要素は一切ない、あくまでボランティアとして消費者教育を子どもたちに実施するという活動だというふうに伺っております。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。そこはきちんと分けているわけですね。</p>
平井委員	<p>私も庭野委員と同じように、企業との結びつきを懸念されるようなことがなければいいなというところが一つあります。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>それと、お話しいただきました小岩五中のPTA会長根本さん、名簿を見ますと幹事長となられているようで、今回の申請する団体の所在地としてご自宅の住所になっている。江戸川区のいろいろなところで活動されるのはすごくいいのではないかと。</p> <p>1回やってみれば、変な関連付けがあるのかないのかということも見えてくるかと思いますが、1回認めてしまうと、その後次は駄目というわけにいかないとは思いますが、その辺だけちょっと慎重に精査をしていただきたいなど。</p> <p>ありがとうございます。他の自治体の実績はありますが、慎重に見極めながらということでしょうか。ほかになれば、第30号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、第31号議案、「全日本書写書道教育研究会開催に伴う教育委員会後援名義の使用承認について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>佐藤教育指導 課 長</p>	<p>今年度が62回の大会ということで、東京大会の要項及び内容、予算書、そして細目、役員名簿等の資料をご用意しました。さらに参考として昨年度の第61回神奈川県大会61回大会の収支決算書、さらにその前の第60回大会、葛飾区で行われました際の事業報告書をご用意いたしました。</p> <p>全日本書写書道教育研究会より、令和4年11月4日(金)、5日(土)に実施される全日本書写書道教育研究会第62回全国大会について、後援名義の使用の申請がございました。</p> <p>申請のあった全日本書写書道教育研究会は、生涯教育も視野に入れ、書写・書道教育の研究並びに振興を図ることを目的に、全国の書写・書道教育の研究団体及びその構成員を中心に組織されている団体でございます。</p> <p>本大会については、毎年各都道府県で持ち回り開催を行っており、今年度においては東京大会として実施されます。会場が江戸川区の南小岩第二小学校及びタワーホール船堀であること。そして、南小岩第二小学校の土上校長先生が大会の運営委員副委員長を務めていること。そして分科会やパネルディスカッションにおいて江戸川区の教員が参加することから、このたび江戸</p>

	<p>川区教育委員会にも後援名義の申請があったものでございます。</p> <p>大会は4日に授業公開及び分科会を行い、5日に総会及び研究発表等が行われます。</p> <p>初日は授業公開の後に分科会を行い、南小岩第二小学校の土上校長が主催として参加、同行の西村教諭が事業者として発表を行う予定でございます。</p> <p>5日に行われるパネルディスカッションにおいては、パネラーとして土上校長が登壇いたします。</p> <p>本大会における新型コロナウイルス感染症として、参加者の不織布マスク着用、アルコール消毒、検温、換気等の基本的な感染症対策を徹底するとともに、参加者名簿の作成による連絡先等の把握を徹底、また例年実施しているレセプションは中止としております。</p> <p>以上のとおり、主催団体、大会の目的は専ら教育に関するものであり、感染症対策も十分に講じられていることから、後援名義の使用を承認していただきたいと考えております。本件につきまして、ご審議のほどお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この件につきまして、何か質問、意見はございますか。</p>
天 野 委 員	<p>全国大会を江戸川区で開催していただけるというのは、すごくありがたいことで、また、字というのは本当に日本文化に精通するところがあるので、大いに期待をしているところです。</p> <p>個人的な質問ですけど、全国からいらっしゃるということで、江戸川区を少しでも味わってもらいたいなと思いつつ、懇親会とか中止される中で、宿泊場所として全国の方々にお泊まりいただくキャパが江戸川区にあるのでしょうか。11月では千本桜はないですが、夜の江戸川区を味わっていただけの機会かなと思って、お伺いしてみました。</p>
教育指導課長	<p>宿泊先の情報は持ち合わせておりません。昨年の神奈川大会は170人ほど、その前の大会、葛飾区は200人ほどの参加ということですので、全員が江戸川で泊まるかは不明です。都内のホテルに宿泊されるのかなという感じもしますけれども。</p>
天 野 委 員	<p>都内になってしまうのですね。</p>

教 育 長	<p>幼児教育の全国大会は東京国際フォーラムが会場で、分科会を江戸川区の船堀幼稚園で行ったりして、その後、区内のホテルに宿泊されました。</p>
教育指導課長	<p>今回は手元に資料がなくて、宿泊先までは把握できておりません。</p>
教 育 長	<p>同日に、同じく全国規模の特別活動の大会があり、その関係者の方には宿泊する方もいるし、近い方は日帰り。あと、せっかく来たのでお土産を買うとかもある。そういう点でもいいですね。</p>
天 野 委 員	<p>いろいろなところで落としていただければ。</p>
教 育 長	<p>先週実行委員長の大会会長の東京学芸大学の先生と講師の記念講演される杉本先生と土上先生が私のところにも来ていただきました。</p> <p>さらに運営役員の名簿も出ておりましたけれども、この書写については、江戸川区と葛飾区が東京都あるいは全国でも、先駆的な役割を果たしているらしいです。熱心に書写活動を大事にしているというところで、この大学の先生は褒めておられたし、実際名簿を見ても、江戸川区の校長先生や教員の方とか入っていて、本当にお褒めいただいて、江戸川と葛飾で実際もっているようなものですと、おっしゃっていました。</p> <p>もちろん読書も大事ですけど、こういう書写の基本的なところをしっかりと、止めとか、跳ねるとか、こういうのもまた大事な学習かなと。あと精神を集中するという点でもとてもいいのかなというところなので、ぜひ江戸川区の先生にこういうところに参加していただいて、いろいろと深めていただければなど、そういうふうに思っているところでございます。</p>
庭 野 委 員	<p>私も指導室にいるときに、熱心にこの書道の取組と大会も何度もやっております。それで、皆さん方から大変高い評価を得ていたという記憶がございます。</p> <p>さらに、土上先生はもちろんですが、パネルディスカッションに私が勤めている武蔵野大学の廣瀬先生が登壇します。廣瀬先生は今年の全国1位の賞を取っておられます。そういう立派な先生でありまして、うれしいなというふうに思います。ぜひ、この江戸川区で、さらに書を広め、深めていただけたらなというふうに、引っ張っていける、そういう力を先生方はみんな持っているのです。</p>

教 育 長	<p>実際に学校現場で授業を見させてもらおうと、小学校の先生は板書とか上手ですよ。丁寧に読みやすいし。それに比べて、私のいた中学校なんかみんな字が下手で、生徒より下手なのがたくさんいて、よく教員に、もうちょっとしっかり上手じゃなくてもいいけど読みやすく丁寧に書いてくれと言っていました。小学校の先生方はそういったところで力をつけて、中学校の教員のほうもいいお手本にしていきたいです。</p> <p>ほかは何かありますか。</p>
井 戸 委 員	<p>自分の母校ということもあり、南小岩第二小に行かせていただいたのですが、学校を見させていただいたときに、今、教育長がおっしゃったように、先生方の字が本当にきれいだなと思ったのと、あと廊下に掲げて、提示されてある子どもたちの字も、すごく丁寧に書かれてありました。たしか去年もこの学校は書写に対して、力を入れていましてというお話をいただいたのですが、何かやっぱり読み書きというのは本当に基本ですし、字というのはやっぱりすごく大事なことだなと思いました。質問ではなく感想でした。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p>
平 井 委 員	<p>私も小学校低学年の頃、そろばん教室と書道教室は行っていました。今そろばん教室はマイナーで、書道教室もちょっと少なくなってしまうと思います。パソコンに代わったりしても、やはり毛筆というのは日本の文化だと思いますので、子どもたちにしっかりした書道を教えられるように、先生方も一生懸命指導していただければなというふうに思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかになければ、第31議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p>続いて、日程第3、教育関係事務報告にまいります。</p> <p>初めに、「教育委員会後援名義の使用承認について」事務局から説明をお願いします。</p>

教育推進課長	<p>今回は3件の後援名義のご報告です。推進課からは2点ございます。</p> <p>1件目の行事でございますが、3回目の後援です。行事名が江戸川区少年少女オーケストラ第13回定期演奏会。申請者は、少年少女オーケストラ団長。事業目的は、団員が日頃の演奏練習や調べ学習により創意工夫して管弦楽曲に取り組んできた成果を披露することで、音楽活動を通じた文化向上や親睦を深めることを目的とするものであります。実施日時は、令和4年11月27日(日)13時30分から15時20分、会場は総合文化センター小ホールです。事業の対象と範囲は、江戸川区民及び一般の方々、経費の徴収といたしまして、入場料一人500円の徴収を行います。賞状、副賞等はございません。</p> <p>ちょっと資料が前後いたしますが、添付でつけさせていただきます。この行事に関する申請書一式をつけさせていただきますので、ご覧ください。</p> <p>1ページをおめくりいただきますと、企画書がございます。事業の目的は、先ほど申し上げたようなところではございますが、実施日時、入場料のほうの下に演奏曲目、こちらにございますような曲目を演奏いたします。</p> <p>さらに、このページの一番下のほうに、コロナ禍で対面練習ができなかったときに、初めて行った調べ学習の成果、パネルみたいな形でございますが、これを定期演奏会で発表します。この辺りが先ほどのところでありました調べ学習の成果というところだというふうにお伺いしてございます。</p> <p>企画書の2ページにございますように、感染症対策、マスクや手指消毒だとか、譜面台の間隔を空ける、また床に飛沫の拡散を防止するためのシートを敷いて演奏する。楽屋や受付、またステージ前の観客席につきましても、ステージ前の席を立入禁止とするなど、感染症対策を行った上で実施をするというふうにお伺いしてございます。</p> <p>その他、予算書、会場のレイアウト図、また、昨年度の第12回定期演奏会のチラシを参考とさせていただきます。</p> <p>2件目の後援名義申請は教育委員会後援名義33回目の申請です。</p> <p>第34回三校一園合同音楽でございます。申請者は、三校一園PTA連絡協議会会長。事業目的といたしましては、児童・生徒の日頃の音楽活動の成果を各PTA会員及び地域の方々に披露し、相互の連携と親睦を深めるというものでございます。参加校は、小岩第一中学校、小岩小学校、東小岩小学校の3校です。</p> <p>団体名となっておりますのが三校一園でございます、従来はこの3校</p>
--------	---

に加えまして小岩第一幼稚園が加わって三校一園でありましたが、小岩第一幼稚園は閉園しましたが、名前には引き続き残っているものでございます。

実施日時は、令和4年11月3日(木)、会場は小岩アーバンプラザ。事業の対象は、3校の生徒、児童、保護者並びに地域の方でございます。

こちらも参考につけさせていただきました申請書等をご覧ください。

1ページ目は申請書でございますが、おめくりいただきますと、次のページが企画書となっております。

参加校ということで、小岩第一中学校の吹奏楽部、小岩小学校のブルーラビットバンド、東小岩小学校の金管バンドなどということで、これらが、それぞれ演奏されるものでございます。あわせて、3校のPTAのコーラスを実施するというのが内容です。

昨年度、今年の1月につきましては、小岩小学校のブルーラビットバンドさんでしたか、今年につきましては、ごめんなさい、小岩第一中学校の生徒による演奏を会場で行いまして、その様子につきましては、それぞれの学校にオンラインで配信をして、会場には教育委員さんを含めて少数の来賓の方だけにご覧いただくというような形になりましたが、今年は本来の形式に戻しまして、小岩アーバンプラザにおきまして、それぞれの学校が演奏を行い、客席でご覧いただくというような形に戻すということでお伺いしてございます。

これらの感染症対策も、もちろん行った上でということで、参考にはその他、三校一園協議会の会員名簿や、前回の33回のリーフレットをつけさせていただいたところがございます。

教育指導課長

続きまして、3件目です。全国夜間中学校研究会からの後援名義の申請でございます。お手元資料、申請書、それから会則、そして今回の大会の要領、予算書(案)、そして役員名簿がございますので、ご覧いただきながらお話をお聞きいただければと思います。

全国夜間中学校研究会より、令和4年11月17日(木)、18日(金)に実施される第68回全国夜間中学校研究大会について、後援名義の使用の申請がございました。

申請のあった全国夜間中学校研究会は、全国の夜間中学校相互の連絡を図り、あわせて夜間中学校教育の実態と方法等を研究協議し、改善を促進して、義務教育の完全普及に寄与することを目的に、全国の夜間中学校の職員によって組織されております。

なお、江戸川区の小松川第二中学校の教員が本組織の副会長を務めており

ます。

本大会につきましては、関東地区と関西地区で相互に持ち回り開催をしております。関東地区にて実施される大会の際には、江戸川区の後援名義の申請がこれまでも出されております。今回は、令和2年度に後援名義の実績がございます。

本大会は17日に全体会を行い、18日に分科会を行います。全体会は主題提起のほか、実際の夜間中学校の生徒による体験発表を行います。分科会は研究領域ごとに分科会を実施し、かつ発表者における研究発表が行われる予定でございます。

本大会における新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の不織布マスク着用、アルコール消毒、検温、換気等の基本的な感染症対策を徹底するとともに、本来600名程度入場可能な会場に対し、定員を300名に絞って開催し、座席も前後左右を空けて着席させる等の対策を講じることとなっております。

以上のとおり、主催団体、大会の目的は専ら教育に関するものであり、感染症対策も十分に講じられていることから、後援名義の使用を承認していただきたいと考えております。本件につきまして、ご審議のほどよろしく願いいたします。

教 育 長

3件、後援名義の使用申請がありましたけれども、いかがでしょうか。質問、意見があればお願いします。

天 野 委 員

一番初めの江戸川区少年少女オーケストラですが、年齢層を拝見したところ、かなりの年齢差が一つの団となって一つの音を奏でるところを織りなしているなということもあり、教育活動も含めて、いい文化、楽しみだなというところですよ。

二つ目の三校一園合同音楽会、今回はオンラインでということですが、区の方が協力をされていたのか、それともこの団体がオンラインできちんとできるように設置をしたのかということ、オンラインによる評価というのはどうだったのかなということをお伺いしたいなと思っています。コロナの関係で、なかなか一般の方が見られないということで、オンラインでできる環境は羨ましいなとは思ってはいるのですが、その行程で区のほうでもサポートしていってよかったのかをお伺いしたいと思っています。

三つ目の夜間中学校研究大会の中の第四分科会の多文化共生教育のところ、在日韓国・朝鮮人教育という記載があったものですから、在日韓国・

<p>教育推進課長</p>	<p>朝鮮人教育なところを議題にするほど人数がいらっしゃるのかな、分科会はどういった内容の話になっているのかなという興味を持ちました。分かる範囲で構いませんので、国名を挙げてというところの部分で教えていただければと思っております。</p> <p>三校一園合同音楽会のオンラインのところにつきまして、ご回答させていただきます。</p> <p>まず、区としてオンライン中継につきましては特にご支援はしておりません。主催者側のほうで対応していただきました。ただ、当日会場、小岩アーバンプラザの舞台設営等は指定管理者として専門業者が入っているのですが、こちらのほうに協力をいただいたようで、全体で演奏している様子を引き撮っているだけではなくて、特にパートパートでソロの部分が多く作りまして、そのパートのソロの部分でスポットライトをそのままパートに当てて、そのパートの人を大きく映すことで、オンラインで見ている保護者の方々も様子がよく分かったということで、ご好評をいただいたとの感想を伺っています。</p> <p>ホールの使い方も含めて、工夫をしながらオンラインを実施し、明るく照らされた中でいきいきと演奏している様子を見て、保護者の方々には喜んでいただいたというようなご報告をいただきました。</p>
<p>天 野 委 員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p>第4分科会の多文化共生教育、発表者が大阪の東大阪市立布施中学校というところでは、その中学校の夜間学級には、11か国104人の生徒が通っているということです。その中で、文化の違い等を含めて多文化共生教育を行っているのですけれども、在日朝鮮人教育について、これまでも行ってきていて、その発表ということです。</p> <p>これまでも朝鮮文化に親しむ東大阪子どもの集いというのが、毎回開催されているようで、そこでは3,000人ほど集まっている中で、朝鮮人の心が込められているオリジナルの「夜中アリラン」という歌をみんなで歌って、最高に励ましになったということがあったようです。民族と文化でつながるということ、これまで差別等を体験してきた方々、保護者の方も含めて、そういう経験等を発表して、これまでの環境を大きく変えていきたいというような思いで、これを発表するというようなことで、今回も同じように、差別や偏見等に対する、これまでの歴史を踏まえた発表だというふうに思いま</p>

統括指導主事	<p>す。</p> <p>在日韓国人、在日朝鮮人というのは、やっぱり過去の歴史もあります。夜間学校、夜間学級は、そういう方々の学び直しのある場でありまして、そういう方、当時日本に住んでいて、しっかりと教育を受けられなかったというのは、いまだにいらっしゃいます。なので、そのテーマ、在日韓国・朝鮮人というのは、やはり外せないテーマとしてございます。</p>
天野委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>歴史を知るということはものすごくいいことですし、逆にマイナスになる部分も、そこにスポットを当てて、ずっといいのかということも、教育の中でいろいろ、教科書選びもそうですけれども、いろいろなところがあるので、国名をこうして挙げているということが気になったものですから、ありがとうございました。</p>
教育長	<p>ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
庭野委員	<p>三つとも、コロナ感染拡大の防止対策をしっかりとっていて、今、子どもたちの活動が狭められていっているときに、どんどん積極的に発表の場をつくってあげようという、そういう意図がひしひしと伝わってまいります。ぜひ、成功するように支援したいなというふうに思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、「全国大会及び東京都中学校吹奏楽コンクール出場結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
教育指導課長	<p>東京都中学校吹奏楽コンクールの結果、それから運動部の全国大会の出場及び結果がお手元にあると思います。</p> <p>まず、吹奏楽コンクールの結果からお伝え申し上げます。こちら部門別と、金賞、銀賞、銅賞ということで、各学校名が書かれています。鹿本中学校がA組50名以内という部門、編制の中で、金賞を受賞、そして9月11日開催の全日本吹奏楽コンクール予選に参加するというところでございます。</p> <p>続きまして、皆様もご案内のところではあるのですが、一番下の軟式野球ですね。上一色中学校が全日本少年軟式野球大会において、見事優勝</p>

	<p>ということで、全国1位となりましたので、併せてご報告申し上げます。</p> <p>その次のページは、それぞれの大会の参加者名簿でございます。軟式野球、ダンス等につきましては、参加者が多いので、別紙で児童・生徒の名前をお示ししてございます。</p>
教 育 長	<p>吹奏楽ですが、金賞になっても2校しか全国大会へ行けないから、常連が2校いますので、その中で金賞を取ったというのは、鹿本中なかなかレベル高いですね。あと空手はあるけど、柔道はないですね。</p>
天 野 委 員	<p>私も気になりました。</p>
教 育 長	<p>江戸川区の子どもたち、頑張っているというところでございます。</p> <p>また、上一色中の野球部が昨日、区長に報告して表彰もしていただいて、また広報等にも出ていたと思いますので、ご覧ください。</p> <p>ほかになれば、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>次に、「学校を休みがちな児童・生徒保護者の会について」事務局から説明をお願いします。</p>
佐藤教育研究 所 長	<p>学校を休みがちな児童・生徒保護者の会のお知らせでございます。年に1回行っているものでございまして、平成23年度から開催しております。2部構成で、講師による講演、それから2部、後半は懇談会ということで、同じ悩みを持つ保護者、それから本人の懇談を進めるという、そういう会でございます。一昨年、令和2年度はコロナで中止をしておりますが、昨年からまた開催いたします。昨年は15名。それまで令和元年度は28名、平成30年は22名、平成29年は39名と、大体20名前後の参加で、この会が行われております。</p> <p>講師につきましては、大体2年ごとに、2年間同じ方の講演ということでお願いしております。今回の奥井先生は昨年から引き続きで2年目の講演となります。</p> <p>電話による申込みを行っております。こちらのチラシを見て電話で申し込まれると、そういう形になっております。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>この件に関しまして、質問等、ございますか。</p>

天 野 委 員	学校を休みがちな児童というのは、対象が小学生ということでしたか。
教育研究所長	小学生、中学生です。児童・生徒ですね。
天 野 委 員	<p>行事的にはものすごくいいなと思っていますが、参加人数が思ったより少ないなというところでお尋ねします。</p> <p>例えば小学生のお子様だと、行きたいけれど、もう一人子どもがいて一緒に行けないとか、そういう環境整備、開催中子どもを預ける場所があるから、そこに預けて、自分は出席するとか、そういったことは今後可能性があるのか、どうかというところと、そういう事情で参加できない方もきっといらっしゃるのだろうなという想定があるかどうかということをお教えてください。</p> <p>大学生や高校生であれば、多分一人で待っていなさいと言えると思うのですが、小学生や、もしかすると幼稚園生とか、もっと小さい子が10時から12時半に預けられていればいいのですが、預けられていない子を抱えているから一緒に行けないとか、そういったことがあるのでしょうかということですか。</p>
教育研究所長	特にそういう要望は聞いておりません。託児所等の準備はしておりません。今後につきましては、検討していきたいと思っておりますけれども、基本的に一緒に会場に入らせていただく対応かなと感じております。
天 野 委 員	入っても大丈夫なのですね。
教育研究所長	はい。講演を聞いて、その後、懇談会ですので、特段一緒にいても差し支えはないかなということですので。そういう方は一緒に入られるのかなと思います。
天 野 委 員	ぜひ、広めていただいて、一人でも多く、学校に行くのは楽しいなという方向に進んでいただけたらと思っています。
教 育 長	ありがとうございます。
平 井 委 員	令和3年度15名ほどの参加ということでしたが、小・中学校の比率と、また、参加していただいた保護者の方の感想なども、もしお分かりでしたら、教えていただければ。

教育研究所長	<p>比率については手元に資料がないのですが、15人参加で14人がアンケートを書いてくださいました。「とても参考になった」、「不登校の子どもを否定するのではなく、関心、感嘆、肯定してあげるとというのが勉強になった」、「学校へ行けないことが一番の問題ではないと気づいた」、「子どもが社会的自立をできるように考え、本人が悩み等の相談ができる親にならなければならないと思った」などの意見がございいます。</p>
平井委員	<p>今のお話を聞いて非常に安心をしました。学校を休みがちなところで、完全に不登校になっていない子どもの保護者として、学校に行きなさいだけじゃない、次の言葉が出てきたという、そういう、出てくるという可能性が参加された保護者の方に随分受け取られたようで、非常にいい会になったのかなと思います。</p>
教育長	<p>ほか、よろしいでしょうか。 なければ、ただいまの報告事項を了承いたします。 次に、「いじめ電話相談（令和4年度8月分）について」事務局から説明をお願いします。</p>
教育研究所長	<p>いじめの電話相談でございいます。8月分は1件でございいます。 以上です。</p>
教育長	<p>この件に関しまして、質問、ご意見等ございいますか。</p>
天野委員	<p>逆質問よろしいですか。私たちが感想を述べる前に、ほかのところにいらっしゃる方々のご感想を一度お伺いしてみたいなと思っています。</p>
教育研究所長	<p>昨年の実績ですと、8月はゼロで9月が2件、1年間通しての電話相談は15件です。教育相談全体では、電話、来訪の相談は対応がびっしり詰まっておりますので、こといじめの電話相談に限ると、このような件数になってしまうのかなというふうに思います。</p>
天野委員 統括指導主事	<p>承知しました。ありがとうございます。 いじめの相談は電話なので、本当にせっぱ詰まっている子がいない状況であるというところに安心しております。ただ、いじめ電話というところで子</p>

	<p>どもたちにとってはハードルが高いのかなと。</p> <p>今、いじめの学校の対応については前期分の集計をやっているのですけれども、その件数と、ここでの統計とは全然違うものがありましたので、いずれまたご報告をさせていただきたいなと思います。</p>
天 野 委 員	<p>今のお話、ここでの件数と現場の比率、見合っている電話の数なのかというところをお伺いしたかったので、分かりました。ありがとうございます。</p>
教育研究所長	<p>教育相談に関しましては、グリーンパレス、西葛西、南篠崎に相談室がありますけれども、電話相談は令和3年度実績であわせて690件です。そして、来室相談は3室合わせて延べ1万3,483件ですので、相談件数としては、相当な件数が上がっているということでございます。</p>
天 野 委 員	<p>私も安心したのと同時に、やることが多分いっぱいあるのだなということを理解できました。ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>結局、同じ人から何回もというのもある。</p>
教育研究所長	<p>延べ件数です。その他に手紙も1,500件ほどあります。</p>
天 野 委 員	<p>一つ一つ、解決に導かれているのか、ただ、訴えを受けているだけなのかなというところでも多分違うのですけれども、今後また教えてください。</p>
教育研究所長	<p>基本的に話すことが目的の方もいるので、レスポンスが欲しい方は指導課につないでほしいとか、学校につないでほしいとか、警察につないでほしいとか、そういうところありますので、その都度対応を図っております。</p>
天 野 委 員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>よろしければ、ただいまの報告事項を了承したいと思います。</p> <p>以上をもちまして、令和4年第17回教育委員会定例会を終了します。</p> <p>閉会時刻 午後2時20分</p>